

2014(平成26)年度

経営学研究科 国際経営専攻 博士前期課程 教育課程表(2010年度以降入学者に適用)

		授 業 科 目	単 位		担 任 教 員	備 考
			講義	演習		
経営系	基本	経営学特講	2	4	教授 博(経営学) 丹 野 勲	休講 休講 (隔年開講)
		経営管理論特講	2		講師 博(経営学) 海老澤 栄 一	
		経営財務論特講	2	4	准教授 博(経済学) 菅 野 正 泰	
		経営史特講	2	4	教授 後 藤 伸	
		経営戦略論特講	2	4		
		経営組織論特講	2		講師 博(経営学) 海老澤 栄 一	
		経営労務論特講	2	4		
	応用	グローバルマーケティング論特講	2		教授 ティオフィス・アサモア	休講 休講 (隔年開講) 隔年開講
		スポーツ・ビジネス論特講	2	4		
		スポーツ・マネジメント論特講	2	4		
		ベンチャ企業論特講	2		講師 博(経営学) 海老澤 栄 一	
		マーケティング論特講	2	4	教授 行 川 一 郎	
		企業論特講	2	4	准教授 博(学術) 行 本 勢 基	
		経営倫理論特講	2		講師 博(経済学) ビシュワ・ラズ・カンドル	
		生産マネジメント特講	2	4	准教授 博(工学) 道 用 大 介	
		比較経営論特講	2		教授 Ph. D. 杉 田 弘 也	
		財政学特講	2	4	教授 青 木 宗 明	
		貿易商務特講	2	4	教授 岡 本 祥 子	
国際系	基本	科学・技術・社会(STS)特講	2		講師 常 石 敬 一	休講
		国際・異文化コミュニケーション論特講	2	4	教授 Ph. D. 泉 水 英 計	
		地域研究Ⅰ(アメリカ)	2		准教授 Ph. D. 吉 留 公 太	
		地域研究Ⅱ(アジア・太平洋)	2		教授 Ph. D. 杉 田 弘 也	
		地域研究Ⅲ(中国)	2		教授 博(文学) 廣 田 律 子	
		地域研究Ⅳ(日本)	2	4		
		地域研究Ⅴ(東南アジア)	2		講師 博(文学) 古 谷 伸 子	
	応用	経営情報論特講	2	4	准教授 博(情報学) 飯 塚 重 善	休講 休講 休講
		研究開発論特講	2		講師 博(経営学) 畑 中 邦 道	
		国際マーケティング論特講	2	4	教授 ティオフィス・アサモア	
		国際技術・情報移転特講	2		講師 常 石 敬 一	
		国際金融論特講	2	4	教授 菅 原 晴 之	
		国際経営論特講	2	4	教授 経営博 榊 原 貞 雄	
		国際広報特講	2	4		
		国際財務特講	2		准教授 博(経済学) 菅 野 正 泰	
会計系	基本	国際法務特講	2	4		休講
		多国籍企業論特講	2	4	教授 田 中 則 仁	休講
		地域社会論特講	2	4		休講
	応用	企業会計論特講	2		教授 関 口 博 正	休講
		原価計算論特講	2		講師 柳 田 仁 雄	
		国際会計特講	2		教授 照 屋 行 雄	
		財務会計論特講	2	4	教授 照 屋 行 雄	
		財務諸表論特講	2		講師 博(経営学) 大 田 博 樹	
		会計情報分析論特講	2	4		休講
		経営分析論特講	2	4	准教授 博(経済学) 真 鍋 明 裕	
		公企業会計特講	2	4	教授 関 口 博 正	
		租税法特講	2		講師 相 原 光 治	
		法人税法特講	2		講師 相 原 光 治	

指導教授

学生は専攻科目のうちから演習の指導を受ける科目（専修科目）を選び、当該科目の演習を担当する教員の研究指導を受けるものとする。この選択した演習の担当教員を指導教授という。

指導教授は2名とすることができる。ただし、修業年限の短縮が認められた者については、指導教授は必ず2名とする。指導教授が2名の場合には、いずれか一方を主指導教授とし、他を副指導教授とする。学生は、主指導教授の全般的な指導の下に研究を行うものとする。

副指導教授については、研究科委員長の承認を得て、届け出るものとする。

指導教授は原則として変更することはできない。ただし、研究科委員長が研究上、特に必要と認めた場合には、研究科委員会の承認を得て、これを変更することができる。

履修方法

指導教授の指導によって32単位以上を修得すること。

その内訳は次のとおりとする。

1. 演習は必修とし、2年間にわたり8単位を修得すること。ただし、指導教授を2名とした場合は、主指導教授による演習を必修とし、2年間にわたり8単位を修得すること。
2. 修業年限の短縮が認められた者については、前項にかかわらず、主指導教授による演習4単位及び副指導教授による演習4単位を修得すること。
3. 副指導教授による演習については、修了要件単位として算入することができる。
4. 指導教授が研究上、特に必要と認めた場合には、他の研究科または学部の課程による授業科目を8単位まで履修できる。
5. 他大学大学院（神奈川県内の大学院間の単位互換協定校）の授業科目を10単位まで履修することが出来る。
6. 上記4、5で修得した単位について、他研究科及び他大学大学院で修得した単位は8単位まで修了要件単位として換算することができる。ただし、学部で修得した単位については換算しない。

修了要件

1. 博士前期課程の修了要件は、本研究科に2年以上（修業年限の短縮が認められた者については、1年以上）在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 修士論文の審査を申請し得る者は、博士前期課程第2年次以上（修業年限の短縮が認められた者については、博士前期課程第1年次以上）に在学し、所定の授業科目について20単位以上を取得し、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。

2014(平成26)年度

経営学研究科 国際経営専攻 博士後期課程 教育課程表(2010年度以降入学者に適用)

区分	授 業 科 目	単 位		担 任 教 員	備 考
		講義	演習		
国際マネジメント分野	国際マネジメント特殊研究	2		講 師 博(経営学) 海老澤 栄 一	
		2	4	教 授 田 中 則 仁	
		2	4	教 授 博(経営学) 丹 野 勲	
		2	4	教 授 後 藤 伸	
		2	4	教 授 行 川 一 郎	
		2	4	教 授 経営博 榊 原 貞 雄	
		2		教 授 ティオフィラス アサモア	
	国際マネジメント特殊研究	2	4	教 授 菅 原 晴 之	
国際会計・経営情報分野	国際会計・経営情報特殊研究	2	4	教 授 照 屋 行 雄 明	
		2	4	教 授 青 木 宗 明	
	国際会計・経営情報特殊研究	2		教 授 関 口 博 正	
国際経営環境分野	国際経営環境特殊研究	2	4		休講
	国際経営環境特殊研究	2		講 師 常 石 敬 一	
	国際経営環境特殊研究	2	4		休講

指 導 教 授

学生は専攻科目のうちから演習の指導を受ける科目(専修科目)を選び、当該科目の演習を担当する教員の研究指導を受けるものとする。この選択した演習の担任教授を指導教授という。

指導教授は2名とすることができ、その場合には、いずれか一方を主指導教授とし、他を副指導教授とする。

学生は、主指導教授の全般的な指導の下に研究を行うものとする。

副指導教授については、研究科委員長の承認を得て、届け出るものとする。

主指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、他研究科と協議のうえ、他研究科の博士後期課程担当教員を副指導教授とすることができる。

履 修 方 法

1. 学生は指導教授による講義を2単位、さらに演習を3年間にわたり12単位修得すること。ただし、指導教授を2名とした場合は、主指導教授による講義を2単位、さらに演習を3年間にわたり12単位を修得すること。
2. 主指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、学生は他研究科の授業科目を履修することができる。

修 了 要 件

1. 博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、14単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 博士論文の審査を申請し得る者は、博士後期課程において、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。